

## 一般社団法人地理情報システム学会 第6回理事会 議事録

平成21年7月31日午後4時00分、東京都目黒区駒場4丁目6番1号の東京大学駒場キャンパス内生産技術研究所 Cw503号室において理事会を開催した。

定刻に、柴崎会長は議長席に着き、開会を宣言し、次の通り総理事数の過半数を超える6名の理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

総理事数 10名

出席理事数 6名

議事に先立ち、議長から議事録署名人を任命したいとの提案があり、今井理事及び太田理事が議事録署名人に任命された。

### 第1号議案 分科会(SIG)活動の運営改善について

浅見理事から提案された分科会活動の運営改善策について討議した。原提案では、「新規の設置申請書は、年度開始直前の理事会の1ヶ月前までに、学会に提出する」ことになっていたが、これを年間を通じて随時設置申請を可能とすることとした。更に、「SIGはおおむね2年に一度、その研究成果を学会誌もしくは大会で発表」することを求めることになっていた部分を、2年に一度大会でのポスター発表を義務付けることに修正して承認した。また、年度途中におけるSIGの申請が認められた場合、そのSIGに対する予算措置をどのように行なうか(補正予算を組に直す必要があるか)の質問が出されたが、SIG予算は総額で決められているため、予算修正(補正予算)は行なう必要がないことを確認した。

### 第2号議案 GISCAにおける規程類の改定及び名誉GIS上級技術者の称号贈呈について

太田理事より、まずGISCAの規程改定について提案された。この改定は、GISCAの代表者の呼称を会長から代表と改めたこと、GISCAが当学会のSIGと同じ位置づけになったため、会計規則をSIGと同等の規程に改めたことなど、提案趣旨の説明があった。これに関して提案を了承した。

更に、名誉GIS上級技術者の制度を設け、当学会の会長経験者をこれに推薦頂きたいとの提案があった。議論の後、学会賞委員会に当学会からの名誉GIS上級技術者推薦者の選考を依頼することにした。原提案では、当学会の会長経験者が推薦者として意図されていたが、これをGIS名誉上級技術者規程第2条に定める条件に合致する者に広げることが合意された。

### 第 3 号議案 編集委員会規程（案）について

玉川理事より，編集委員会規程の改正案が提案された．GIS - 理論と応用の特集号を発行する際に臨時委員を置けられるように改めたい，との提案趣旨が説明された．この提案を理事会として承認した．

### 第 4 号議案 文書及び記録管理規程について

当学会では設立時より文書管理規程が定められているが，これを忠実に守って文書管理を行う場合作業量が膨大となることから，実効的な文書管理規程の改定を各担当委員会等に依頼したいとの趣旨説明が大沢事務局長からなされた．特に，様式を誰が作成し，誰が承認するかなどの手続き的な面にも曖昧さがあることが現規程の問題点として指摘された．意見交換の後，今井総務担当理事がたたき台を作ることとした．また，資料 4 に一覧が掲載されている諸規定についても，各委員長等に規程作成を依頼することとした．

### 第 5 号議案 学会名称変更パネルディスカッション開催について

貞広大会実行委員長から学会名称変更のパネルディスカッションの今年度大会での開催予定の有無に関する照会があり，議論された．本パネルディスカッションを今年度大会において開催することとし，シンポジウムの構成に関しては浅見理事に詳細の検討を依頼することとした．但し，原提案にある「学会名称変更」を冠した名称とはせず，学会の将来像，学会の今後をテーマに設定し，その中で学会名称変更にも焦点が当てられる構成を検討する必要があるとの意見が出された．

### 第 6 号議案 非賛助会員の機器展示について

本年度大会のローカルアレンジメントを担当頂いている新潟大学牧野教授からの依頼で，賛助会員以外の企業の機器展示を，賛助会員年会費（5 万円）の半額程度で認めることの可否が審議された．意見交換の後，非会員企業に対しても 1 回限りの「お試し展示」を認めることとした．その際の金額に関しては，開催地の長の裁量で決定できることとした．しかし，既に賛助会員となっておられる企業に対して不公平感を抱かせない配慮が必要との意見があり，情報管理（非会員であるにもかかわらず展示できた等の情報が，他社に漏れない配慮）を厳格におこなうこと，当学会の大会とは別のワークショップが併設されていて，それに対する展示であるとの形をとること，等の配慮を求めることとした．

## 第7号議案 2011年度研究発表大会の大会開催地について

山崎利夫九州支部長から、2011年度の大会を鹿児島大学において開催したいとの申し出があり、意見交換の後、この申し出を受諾することとした。但し、開催校である鹿児島大学との打ち合わせ状況が明確でないとの懸念が出された。これに関しては、山崎九州支部長に確認することとした。

### 報告事項1 大会プログラムについて

貞広大会実行委員長から提出された資料7に基づき、大会プログラムについて報告された。

### 報告事項2 GISCAの活動報告について

太田理事から提出された資料8に基づき、GISCAの活動が報告された。

### 報告事項3 地方支部予算配分について

小荒井理事から提出された資料9に基づき、地方支部への予算配分方式及び、査定根拠について報告された。

### 報告事項4 地球惑星科学連合大会について

小荒井理事から提出された資料10に基づき、地球惑星科学連合大会について報告された。小荒井理事の提案にある分野横断的にセッションを設けることの方角は良いが、戦略を考えたたき台を作成して提案する必要があること、セッションを計画しても積極的に発表をオーガナイズしないと論文が集まらないとの懸念、などの意見がだされた。渉外委員会において議論を深めていただき、次回議論することとした。

### 報告事項5 「GIS - 理論と応用」既刊の公開状況について

玉川理事より、JSTのJournal@rchiveにおいて過去の「GIS - 理論と応用」が公開されていることが報告された。

### 報告事項6 「研究の現場において研究を進める上で支障になっている事項」に関わるアンケートの結果について

資料 1 1 に基づき、標題アンケートの集計結果が報告された。

その他

新入会員リストが示され、2009 年 4 月からの新入会員について報告された。

大沢事務局長より、次回代議員選挙日程について諮られた。議論の後、昨年よりスケジュールを早め、10 月 15 日～31 日の間に代議員募集を行なうこととした。活発な応募を促すため、9 月 15 日発行予定のニューズレターで告示し、10 月の大会時にもチラシ配布を行なうこととした。

以上をもって、本日の議事が終了したので、議長は午後 1 7 時 5 5 分閉会を宣した。以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議事録署名人、今井理事、太田理事が記名押印する。

平成 21 年 7 月 3 1 日

一般社団法人地理情報システム学会

議長理事 柴崎 亮介

出席理事 今井 修

出席理事 大澤 裕

出席理事 太田 守重

出席理事 巖 網林

出席理事 玉川 英則

出席理事 吉川 眞

出席監事 大佛 俊泰